

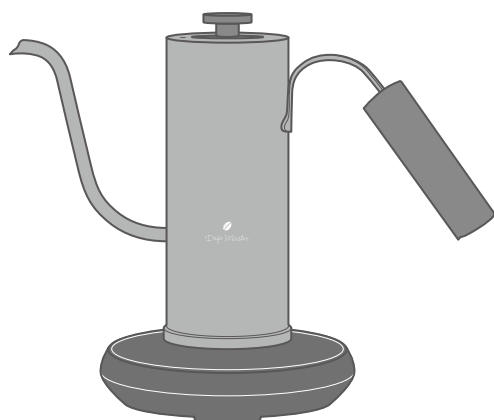
取扱説明書

ELECTRIC CAFE KETTLE
WITH TEMPERATURE CONTROL

温調電気カフェケトル

品番

AKE-290 FSKK-0929



- この度はお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよく読み、ご理解した上でご使用ください。
- 取扱説明書及び、保証書は大切に保管してください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

ご使用にあたって	1
安全上のご注意	2-3
各部のなまえ	4
ご使用方法	5-7
お手入れ	8
故障かな?と思ったら 製品仕様	9
アフターサービス	10
保証書	裏表紙

保証書付

この取扱説明書（裏表紙）には保証書が
ついています。必ず捺印をお受けください。

この製品は日本国内でのみご使用になれます。

This appliance is designed for domestic use in Japan only
and can not be used in any other country.

ご使用にあたって

知っておいていただきたいこと

● 温度表示部の温度と実際の水温の誤差について

本製品は温度測定的方式上、水温や水質、室温などのご使用環境により温度表示部に表示される温度と実際の水温に誤差が生じる場合があります。

本製品について

⚠ やけどにご注意ください

本製品は加熱中や保温中に本体が熱くなります。
加熱中や保温中、加熱直後はハンドル以外に触れないようにしてください。

⚠ 吹きこぼれにご注意ください

水を[**MAX**]目盛り以上入れないでください。
熱湯が吹きこぼれ、やけどをする恐れがあります。

● オートOFF機能に関して

本製品は安全のためオートOFF機能を搭載しており
下記状態の際、自動で電源がOFFになります。


- 通常加熱終了後。
- 通常加熱中に本体を電源ベースから外した場合。
- 保温設定をしてから30分後。※


※途中で設定温度を変更した場合は、最後に変更してから30分後。



安全上のご注意



必ずお守りください!

ご使用になる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
以下の注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすることにより生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損害を負うことが想定されるか、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を示しています。

図記号の例   記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

  記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告

- 水平でない場所や不安定な場所、振動のある場所や棚の上、水で濡れている場所で使用しないでください。
本体が落下・転倒して故障・事故の原因になります。
- 小さなお子様だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。
やけど・感電・けがををする恐れがあります。
- 浴室や屋外など、水のかかる場所では使用しないでください。
製品内部に水が入り、漏電して感電・ショートする恐れがあります。
- 注水やお手入れの際に電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・ショートする恐れがあります。
- 本体の底部や電源ベース、接続部、電源プラグを水で濡らさないでください。
感電・ショートする恐れがあります。
- 動作に異常が生じた場合は直ちに使用を中止してください。
感電・ショートする恐れがあります。電源プラグを抜き、弊社アフターサービスにご連絡ください。▶10ページ参照
- 電源プラグは確実に根元まで差し込んでください。
感電・火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらないでください。
感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり重いものを載せたり、たばねたりしないでください。
傷んだまま使用すると感電・ショート・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。
- 電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
感電・火災の原因になります。他の器具と併用すると、分岐コンセント部分が異常発熱して発火することがあります。
- 海外では使用しないでください。
日本国内のAC100V電源以外で使用すると、感電・火災の原因になります。
- 修理技術者以外は、絶対に分解しないでください。
発火したり、異常動作で感電したり、けがををする恐れがあります。



禁止



プラグを抜く

- お手入れするときや、長時間使用しない場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、濡れた手で抜き差ししないでください。
感電・ショート・けがの原因になります。

⚠ 注意



禁止

- 他製品の電源ベースやふたを使用しないでください。
故障・事故の原因になります。
- 本体を直火・電磁調理プレート(HH)・電気ヒーターの上に乗せたり、電子レンジに入れしないでください。
故障・事故・火災の原因になります。
- 水を入れないまま本体を加熱しないでください。
故障・変形の原因になります。
- 水以外のもの(牛乳・お酒・ジュースなど)を入れないでください。
故障の原因になります。
- お湯を沸かす以外の使い方をしないでください。
故障・事故の原因になります。
- 布類・紙類やプラスチックなど熱に弱いものの近くで使用しないでください。
シミ・変形・火災の原因になります。
- 業務用として使用しないでください。
本製品は一般家庭用です。
- たいたり、落としたり、強い衝撃をあてないでください。
故障・けがの原因になります。
- 本体を屋外で使用したり、冷蔵庫や冷凍庫に入れしないでください。
故障の原因になります。
- [MAX]目盛り以上の水を入れないでください。
お湯の吹きこぼれによる、やけど・故障・事故の原因になります。
- ふたをしないままお湯を沸かしたり、加熱中につき足しをしないでください。
お湯の吹きこぼれによる、やけど・故障・事故の原因になります。
- 加熱中に注ぎ口や通気口をふさがしないでください。
お湯の吹きこぼれによる、やけど・故障・事故の原因になります。
- 加熱中に本体を移動させないでください。
お湯の吹きこぼれによる、やけど・故障・事故の原因になります。
- 給水口・ふたのふちで手を切らないように注意してください。
けがをする恐れがあります。
- 蒸気の出ている注ぎ口や通気口に手や顔などを近づけないでください。
やけどをする恐れがあります。
- 加熱中や加熱直後は本体部分(ハンドル以外)には触れないでください。
やけどをする恐れがあります。
- ふたを持って本体を移動しないでください。
ふたが外れてお湯がこぼれ、やけど・けがをする恐れがあります。
- お手入れは十分に冷めてからおこなってください。
使用直後の本体部分に触れるとやけどをする恐れがあります。
- 連続で使用するときには本体やふたが十分に冷めてからご使用ください。
やけどをする恐れがあります。
- 食器洗浄機を使用して洗浄しないでください。
故障・変形の原因になります。
- 本体に水(お湯)を入れたまま、放置しないでください。
変色・変形・腐食の原因になります。
- 長期間使用しない場合は各部を清掃し、十分乾かしてから保管してください。
残留物による変色・変形の原因になります。
- 漂白剤・塩素系洗剤などを使用して洗浄しないでください。
変色・腐食する恐れがあります。

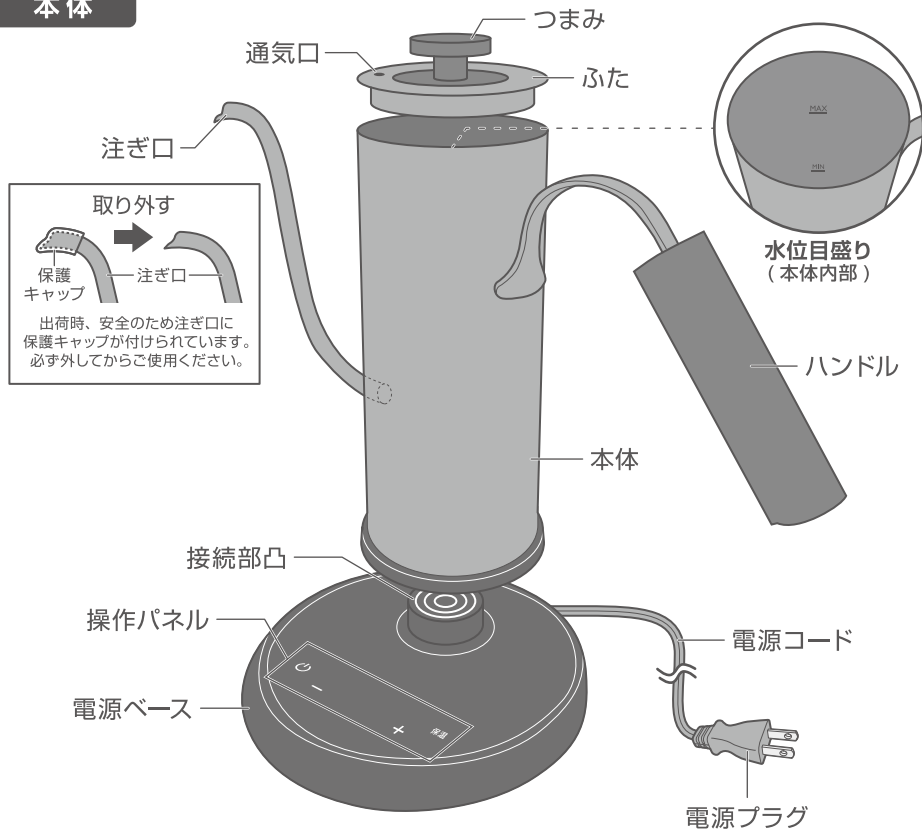


プラグを抜く

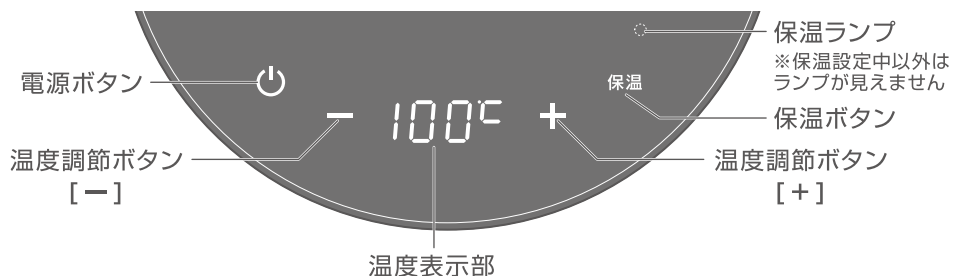
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜いてください。
電源プラグのホコリなどは定期的に取り除いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。

各部のなまえ

本体



操作パネル(タッチ式)



ご使用方法

1. ご使用前に

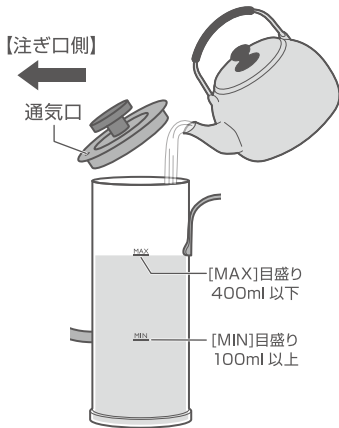
出荷時、安全のため注ぎ口に保護キャップが付けられています。必ず外してからご使用ください。
本体は水かぬるま湯でよくすすぎ、ふたは台所用中性洗剤でよく洗ってください。
一度水を[MAX]目盛りまで入れ、お湯を沸かし、注ぎ口から全てのお湯を捨ててください。

⚠ 注意

- はじめのうちはお湯が臭うことがありますが、故障ではありません。数回使用すると臭いはなくなります。
- 臭いが気になるようであれば、お湯を沸かし注ぎ口から捨てる作業を2~3回程度繰り返してください。

2. 本体に水を入れ、ふたをする

本体に水を入れてください。([MIN]目盛り以上[MAX]目盛り以下)
ふたは通気口が本体の注ぎ口側の位置になるようにセットしてください。



ふたは正しくセットしてください。



⚠ 注意

- 水を [MAX] 目盛り以上入れないでください。
- 熱湯が吹きこぼれ、やけどをする恐れがあります。
- 水以外のもの（牛乳・お酒・ジュースなど）を入れないでください。
- 本体を電源ベースにセットしたまま水を入れないでください。
- 本体底面や電源ベース表面に水がかからないように注意してください。
- ふたが緩んでいたり、正しくセットされていないと本体が転倒したときやお湯を注ぐ時にふたが外れお湯がこぼれて、やけど・けがをする恐れがあります。

3. 本体を電源ベースにセットする

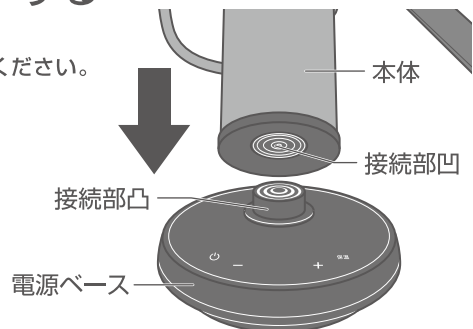
接続部凹を接続部凸の位置に合わせて
本体と電源ベースにすき間がないようセットしてください。

⚠ 警告

- 接続部に水や異物が付着していないことを確認してください。
感電・ショートする恐れがあります。

⚠ 注意

- 不安定な場所で使用しないでください。
- 他製品の電源ベースやふたを使用しないでください。
- 指を挟まないように注意してください。

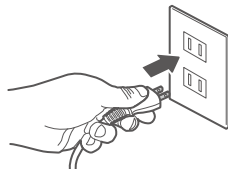


ご使用方法 (つづき)

4. 電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込むと、「ピッ」という音と共に温度表示部が点灯しすぐに消灯します。電源ボタンをタッチすると、温度表示部が数回点滅したのち、「ピッ」という音と共に点灯に替わり加熱を開始します。(加熱中は温度表示部に現在の水温が表示されます。)

- 初期設定は100℃で加熱を開始します。
- 電源プラグを抜かない限り、前回設定した温度で加熱を開始します。



⚠ 注意

- 本体が電源ベースにセットされていないと電源が入りません。
- 濡れた手で電源プラグや本体に触らないでください。
- 布類・紙類やプラスチックなど熱に弱いものの近くで使用しないでください。

5. 温度を設定する

- 60~100℃の範囲で、1℃刻みで設定が可能です。
温度調節ボタン「+」「-」をタッチすると「ピッ」という音と共に、下記のように切り替わります。
温度調節ボタンを長押しすると、押し続けている間切り替わります。
※本体を電源ベースに設置しないと温度設定ができません。

「+」ボタンをタッチした場合

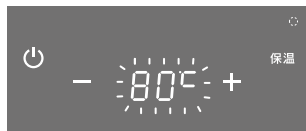
60℃ → 61℃ 99℃ → 100℃
(省略)

「-」ボタンをタッチした場合

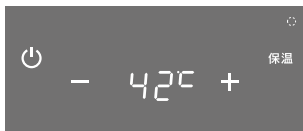
100℃ → 99℃ 61℃ → 60℃
(省略)

- 設定が完了すると「ピッ」という音と共に、温度表示部が現在の水温に切り替わり約3秒後に加熱がはじまります。
- 加熱中に温度調節ボタンを押す設定温度を変更できます。
※設定温度変更中は加熱が中断されます。設定が完了すると約3秒後に加熱を再開します。

温度設定中



加熱中(現在の水温)



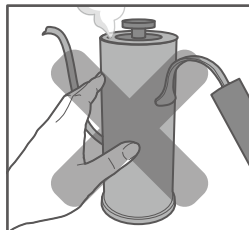
- 設定温度に達すると「ピー」×3という音と共に加熱が完了し、自動で電源がOFFになります。

・加熱中、加熱後に本体を電源ベースから外すと、温度表示部に「-」が数回点滅し、自動で電源がOFFになります
※加熱中のみ点滅中に本体を電源ベースに戻せば再加熱します。

⚠ 注意

- 加熱中および加熱直後の本体部分は非常に高温になります。やけどをする恐れがありますので絶対に触らないでください。
- 使用中は本体から「カチカチ」と音がしますが、金属部分の熱による膨張・収縮による音です。故障ではありません。
- 電源ベースから本体をはさず際は、必ずハンドルを持ってください。
- 沸騰直後に本体のふたを開けないでください。やけどの恐れがあります。

 高温注意



ご使用方法(つづき)

6. 保温をする

- 保温ボタンをタッチすると「ピッ」という音とともに保温ランプが点灯し、現在の設定温度で30分間保温します。
- 保温を停止する場合は、再度保温ボタンをタッチするか電源ボタンをタッチして電源をOFFにしてください。



現在の水温

- ・保温設定中に温度調節ボタンを押すと、設定温度を変更できます。
- ・保温中に本体を電源ベースから外すと、温度表示部に「---」が数回点滅し、保温を停止します。(この時温度表示部は「---」の点滅が続き、保温ランプは点灯したままです。)30分以内に電源ベースに戻すと保温を再開します。
- ・保温設定から30分経過すると、「ピー」という音とともに自動で電源がOFFになります。途中で保温設定温度を変更した場合は、変更した時点から30分後に自動で電源がOFFになります。
- ・保温中は実際の水温が設定温度より低いと実際の水温を、実際の水温が設定温度より高いと設定温度を温度表示部に表示します。

▲ 注意

- 設定温度と実際の水温には多少の誤差が生じる場合があります。

7. お湯を注ぐ

ハンドルを持って電源ベースから本体を取り外しお湯を注ぎます。



▲ 注意

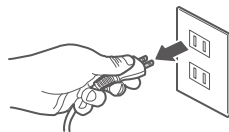
- 本体をかたむけすぎないようにしてください。
- 本体部分は非常に高温になりますので、絶対に触らないでください。

8. 使用後

使用後は余ったお湯を捨て、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分に冷めてからお手入れしてください。

▲ 注意

- 濡れた手で電源プラグや本体に触らないでください。
- お手入れは、必ず電源プラグを抜き本体が十分に冷めてからおこなってください。
- お手入れの際に本体裏面や電源ベースに水をかけないでください。
- 本体に残っている水またはお湯は必ず注ぎ口から捨ててください。



使用直後の本体は非常に高温になりますので、ご注意ください。

お手入れ

1. 本体、ふたのお手入れ

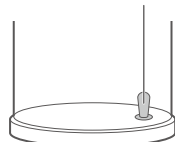
本体内側は水かぬるま湯を入れ、柔らかいスポンジなどで汚れを落としてからすすいでください。
本体外側は、水を含ませ固く絞った布でよく拭いてください。
ふたは台所用中性洗剤でよく洗ってください。



▲ 注意

- 本体外側、底面を水で濡らさないでください。
- 本体内部の汚れ（白い浮遊物、虹色等の変色、白いはん点、赤さび状のはん点など）は本来水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。衛生上問題はありませので安心してご使用ください。
- 汚れが目立ってきたら定期的にお手入れをおこなってください。
- 本体内部底面の温度センサーに十分気をつけてお手入れしてください。
温度センサーに強い力を加えると破損の原因になります。

温度センサー



本体内部

お手入れは本体が十分に冷めてからおこなってください。

2. 電源ベースのお手入れ

水を含ませ固く絞った布でよく拭いてください。
定期的に電源プラグにほこりなどがついていないか電源コードにねじれがないかを確認してください。



▲ 注意

- 電源ベース、電源プラグを水で濡らさないでください。

3. クエン酸洗浄

1～3ヶ月に1度、市販のクエン酸での本体内部洗浄をお勧めします。

- ① [MAX]目盛りまで水を入れ、クエン酸を約10g入れます。
電源ボタンをタッチし電源を入れ、温度を100℃に設定します。
- ② 沸騰したら約1時間放置します。
- ③ 本体からお湯を捨て、本体内部を柔らかいスポンジなどでこすって汚れを落とします。
- ④ 本体内部をよく水ですすぎます。



※クエン酸の臭いが残る場合は水のみでもう一度お湯を沸かしてください。

長期間使用しない場合は、各部を清掃し、よく乾かしてから保管してください。

故障かな？と思ったら...

「故障かな？」と思ったら、次の内容をお調べください。

状態	点検	処 理
電源が入らない	電源プラグは正しく接続されていますか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	ブレーカーが落ちていませんか？	定格15A以上のコンセントを単独でご使用ください。
ボタンをタッチしても反応しない	各ボタンの正しい位置をタッチしていますか？	指の腹で正しい位置をタッチしてください。
	絆創膏や手袋などをしていませんか？	絆創膏や手袋などをしていない指でタッチしてください。
	ボタンに汚れなどが付着していませんか？	汚れなどを取り除いてください。
	ケトルが電源ベースに正しくセットされていますか？	ケトルを電源ベースに正しくセットしてください。
お湯がふきこぼれる	[MAX]目盛り以上に水を入れていませんか？	水は適量を入れてください。 ([MIN]目盛りから[MAX]目盛りの間。)
	水以外(牛乳・お酒・ジュースなど)を加熱していませんか？	水以外は加熱しないでください。
加熱がすぐ止まる	水温と設定温度の差が少なくないですか？	水温が下がってから再度加熱してください。
電源が切れる	オートOFF機能が動いていませんか？	オートOFF機能で自動電源OFFになります。 詳細はP1を参照してください。
使用中に「カチッ」とキシミ音がする	本体の熱膨張によるものです。	故障ではありません。
お湯に白いものが浮く	本来水に含まれるミネラル成分の作用によるものです。	気になる場合は本体をお手入れしてから再度使用してください。

E1	温度表示パネルに左の表示が出た場合は、故障の可能性がありますので、すぐに使用を中止し弊社アフターサービスまでご連絡ください。(P10)
E2	温度表示パネルに左の表示が出た場合は、空焚きによりサーモスタットが動いています。30分ほど待って運転しても表示する場合は、すぐに使用を中止し弊社アフターサービスまでご連絡ください。(P10)

- 修理を依頼される際は、上記内容をご確認していただいた後からご連絡ください。
- 上記内容を確認した上で直らない、またはそれ以外の不具合がおこった場合は弊社アフターサービスまでご連絡ください。(P10)
- 安全に長くご愛用していただくために、日頃から点検をおこなってください。

製品仕様

品番	AKE-290/FSKK-0929	外形寸法	(約) W300×D160×H246(mm)
品名	温調電気カフェケトル	重量	(約) 1.0kg
定格電圧/周波数	AC100V 50/60Hz共用	電源コード	(約) 0.8m
消費電力	650W	材質	本体：ステンレス(SUS304)、PP ふたつまみ・ハンドル：ABS 電源ベース：ABS、ガラス ハンドルカバー：合皮
温度ヒューズ	216℃		
定格容量	[MIN]0.1L~[MAX]0.4L		

- この商品は、日本国内用に設計・販売しています。海外ではご使用になれません。海外でのご使用におけるアフターサービスは全て対象外となりますのでご注意ください。
- 仕様は製品改良のため、予告なく変更することがあります。

アフターサービス

アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

1.修理を依頼される時

- *保証期間中は、商品に保証書を添えてお買い上げ販売店にご持参、または弊社にご連絡ください。保証書の記載内容により無料修理致します。
- *保証期間が過ぎている場合は、弊社にご連絡の上、ご相談ください。
- *保証書に所定の記入や販売店の印章がなき場合、又は語句を書き替えられた場合は、無料修理を保証することはできませんのでご注意ください。

2.補修用性能部品の保有期間

- *この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後5年間です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3.保証書について

- *保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- *保証期間はお買い上げ日から1年間です。

アフターサービスのお問い合わせ

ご連絡していただきたい内容

- 品名
- 品番
- お買い上げ日
- 故障の状況（できるだけ具体的に）



2次元コード

修理に関するお問い合わせ
アフターサービス等



0120-350352

営業時間：(平日)月曜日～金曜日
※祝祭日を除く

午前10:00～11:30
午後 1:00～ 5:00

- *1. 携帯電話・PHSからもご利用できます。
- *2. 混雑時には繋がりにくい場合があります。
時間を置いてからお掛け直してください。

ご使用の回線(IP電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

廃棄について

廃棄処分をされる場合は、お住まいの各自治体の定めた指示に従い、処分してください。
地球環境保護のため、不法投棄は絶対にしないでください。